

平成27事業年度

決算報告書

(第12期)

自：平成27年4月 1日

至：平成28年3月31日

国立大学法人岡山大学

平成27年度決算報告書

国立大学法人岡山大学

(単位:百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	18,172	18,841	669	(注1)
施設整備費補助金	2,097	2,041	△ 55	(注2)
船舶建造費補助金	—	—	—	
補助金等収入	1,654	2,397	743	(注3)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	79	79	0	
自己収入	38,253	39,566	1,313	
授業料、入学料及び検定料収入	7,335	7,209	△ 125	
附属病院収入	30,415	31,535	1,120	(注4)
財産処分収入	—	2	2	
雑収入	503	819	316	(注5)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	4,544	5,237	693	(注6)
引当金取崩	360	470	110	
長期借入金収入	3,104	2,761	△ 342	(注7)
貸付回収金	7	14	7	
目的積立金取崩	—	175	175	(注8)
計	68,270	71,585	3,315	
支出				
業務費	54,255	55,155	900	
教育研究経費	23,217	23,700	483	(注9)
診療経費	31,038	31,454	416	(注10)
施設整備費	5,280	4,882	△ 397	(注11)
船舶建造費	—	—	—	
補助金等	1,654	2,397	743	(注12)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	4,547	5,203	656	(注13)
貸付金	34	22	△ 11	
長期借入金償還金	2,500	2,455	△ 44	
国立大学法人財務・経営センター施設費納付金	—	—	—	
計	68,270	70,116	1,846	
収入-支出	0	1,468	1,468	

※百万円未満切り捨て

○ 予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、以下の要因により、予算額に比して決算額が669百万円多額となっています。
①予算段階では予定していなかった特別運営費交付金および特殊要因運営費交付金が措置されたことにより、予算額に比して決算額が501百万円多額となっています。②予算額に前年度からの繰越額のうち使用見込額299百万円を含んでいるが、使用額が466百万円であったため、予算額に比して決算額が167百万円多額となっています。
- (注2) 施設整備費補助金収入については、事業の繰越等により、予算額に比して決算額が55百万円少額となっています。
- (注3) 補助金等収入については、予算段階では予定していなかった国等からの補助金の増加により、予算額に比して決算額が743百万円多額となっています。
- (注4) 附属病院収入については、手術件数の増加等により、予算額に比して決算額が1,120百万円多額となっています。
- (注5) 雑収入については、主として著作権及び特許権収入の増加等により、予算額に比して決算額が316百万円多額となっています。
- (注6) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、受託研究費収入の増加等により、予算額に比して決算額が693百万円多額となっています。
- (注7) 長期借入金収入については、民間金融機関借入額の減少、並びに事業の繰越等により、予算額に比して決算額が342百万円少額となっています。
- (注8) 目的積立金取崩については、予算段階では予定していなかった事業を計画したため、予算額に比して決算額が175百万円多額となっています。
- (注9) 教育研究経費については、(注1)に示した運営費交付金の追加措置分の執行等により、予算額に比して決算額が483百万円多額となっています。
- (注10) 診療経費については、(注4)に示した理由等により、予算額に比して決算額が416百万円多額となっています。
- (注11) 施設整備費については、(注2)(注7)に示した理由等により、予算額に比して決算額が397百万円少額となっています。
- (注12) 補助金等については、(注3)に示した理由等により、予算額に比して決算額が743百万円多額となっています。
- (注13) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、(注6)に示した理由等により、予算額に比して決算額が656百万円多額となっています。

○ 損益計算書と決算報告書の集計区分の差異について

- (1) 損益計算書では、長期借入金収入は負債の増加であるため計上されていませんが、決算報告書では収入として計上されています。
- (2) 損益計算書では、人件費は役員人件費、教員人件費及び職員人件費に計上されていますが、決算報告書では、財源により業務費と産学連携等研究経費及び寄附金事業費等に計上されています。
- (3) 損益計算書では、寄附金及び間接経費を財源とする費用は業務費の各区分に計上されていますが、決算報告書では、産学連携等研究経費及び寄附金事業費等に計上されています。
- (4) 損益計算書では、長期借入金償還金の元本の返済部分は負債の減少であるため計上されていませんが、決算報告書では支出として計上されています。また損益計算書では、長期借入金償還金の借入利息は財務費用の支払利息として計上されていますが、決算報告書では、長期借入金償還金に計上されています。